

竹さんの名句

一心亭 楽 樂



え、相變らずお笑ひを申上げます。竹「今日は、隠居のるかえ。」

隠「誰方？おや、竹さんかえ、珍らしいな。まあおはいいり。」

竹「アツハハゐたね。これはくお珍らし。」

工場の方は？竹「相變らず朝早くから夜遅くまで夜更だまらねえ、そうなると思慮なぞ不眠症は羨ましいな。遊んで、無駄に飯を食って、ぶら／＼して、しかし退屈せうね。」

隠「いや、さう云はれると暇かしいが私も高更ブラ／＼してゐるわけでもない。一つの道楽があるよ。」

竹「へえ、道楽……やつぱり出掛けますかえ。吉原ですか。潮崎？」

隠「馬鹿云つては困るな。浅ましい。私のは風流の道だ。」

や、身に沁む頃に衣がえ。着がへせねばならぬと思つてゐるけれども仕事に追はれて月日が経つ。寒さが身に沁む頃になつて、はじめて衣がへをするな寂し氣持だよ。」

竹「へえ、ふとんの中へ縮の代りに味を入れるんですかえ。」

